

非常用発電機重油供給バックアップ体制

7. 8. 9月において、非常用発電機(1000kVA)1台を、電力削減対策として使用しているとき、何かしらの影響で重油供給ができなくなった場合のバックアップ体制は、下記の体制で行う。

1. 本町以外の保管重油量

平成23年5月1日現在

団地名	施設名	施設毎重油量	重油量
文京町団地	本部ボイラ	32,600	39 kL
	農生ボイラ	6,910	
学園町団地	附属学校	12,974	18 kL
	朋寮・北鷹寮	5,793	
緑ヶ丘団地	北溟寮		4 kL
富野町1団地	附属支援学校		4 kL
計			65 kL
実用可能量	スラッジ等使用不可能分を考慮し10%削減		59 kL

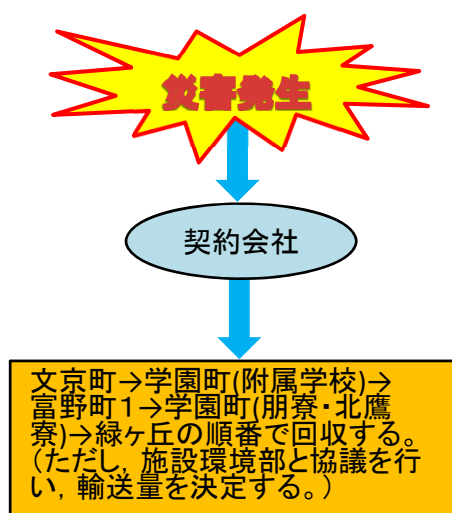
2. バックアップ燃料の発電可能日数

発電機重油使用量(1時間当) 200L

$59,000 \div 200L \div 24時間 = 12.29$ 日 (現在12日間分の重油を確保している)

3. 運搬方法

現在重油要求契約しているマルハ産業(株)へ電話連絡、又はテレビ、ラジオ等において東北地区、新潟県において災害が発生したことを確認した場合、直ちに本町地区以外の重油を本町団地1号タンクへ輸送を行う。



4. 本町重油タンク給油条件

通常時発電機用重油タンクは、60kLを下回った場合、69kLまで給油し、一定量を確保しておくこと。

また、年1回以上の重油の入替を行い、品質を保つようにすること。